

R1

## アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	11 行政評価の実施					重要度	A		
番号・取組事業名	11001	施策評価	作成日	H31.4.1		更新日	R2.3.31		
担当部署	020100	企画部 企画調整課	責任者	飯田 晃一		担当者	高橋		
取組年度	H28	～	R2						
効果	その他改善								
最終目標	総合計画に即して資源配分(P)し、各部門が着実に取組を行い(D)、その結果進捗状況等を管理し(C)、その状況に応じて配分を見直す(A)というPDCAマネジメントサイクルを機能させること。 各取組に対して、成果指標を設け、それについて施策評価を行い検証する。この各取組ごとの成果指標の達成率を向上させることを目標とする。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	計画どおり	サマーレビューの実施、市民意識調査の実施							
平成29年度	計画どおり	サマーレビューによる事業の点検・評価を行った							
平成30年度	計画どおり	サマーレビューによる事業の点検・評価を行った。市民意識調査の実施及び市外者向けのイメージ調査を実施した。施策評価により、各取組や事業の継続的な実施による効果等を点検した。							
令和元年度	実施	サマーレビューによる事業の点検・評価を行う							
令和2年度	実施	サマーレビューによる事業の点検・評価を行う 事業の点検・評価に基づき施策の方向性等を再検討する							
成果指標	指標名	施策に紐付く取組指標の進捗率					単位	達成度	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値	
	当初計画値		設定なし	設定なし	設定なし	55.6%	55.6%	55.6%	
	実績値		51/88指標	50/82指標	55.6%	44.7%		0	
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0	
		変更計画額	0	0	0	0	0	0	
		実績額	0	0	0	0	0	0	
	見込まれる その他効果 (金額以外)		取組指標110のうち、88指標を測定。うち、達成した指標数が51指標。(施策評価実施前のため、指標の実績数値は参考値)	取組指標110のうち、82指標を測定。うち、達成した指標数が50指標。(施策評価実施前のため、指標の実績数値は参考値)	取組指標117(マネジメントを除く)のうち、65指標が進捗。よって55.6%とする。(指標は平成29年度末の実績とする)	取組指標123(マネジメントを除く)のうち、55事業が進捗。よって44.7%とする。			

R1

## アクションプラン(令和元年度)

推進項目	11 行政評価の実施				重要度	A			
番号・取組事業名	11001	施策評価		作成日	H31.4.1		更新日	R2.3.31	
担当部署	020100	企画部 企画調整課		責任者	飯田 晃一		担当者	高橋	
	区分	取組内容・目標							
令和元年度	実施	サマーレビューによる事業の点検・評価を行う							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	サマーレビュー				○				
2	サマーレビュー総括書作成					○	○		
3	事務事業評価・内部評価・予算編成との連携			○	○	○	○		
4	施策評価結果を活用した事業担当課との調整			○	○				
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	サマーレビューを55事業計画どおりに実施した。最重点事業に位置付けた事業を中心に、新規・拡大事業のレビューを行い、重点目標達成に向けての進捗管理を行った。「計画どおりに推進していく事業」「再検討が必要な事業」のほか、「条件付き推進事業」を新たに設け、予算査定までに整理すべき内容を各事業課に依頼した。 また、昨年度実施した施策評価の結果から、取り組む事業の変更や指標の変更など、担当課と協議し進めている。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	施策に紐づく取組指標の進捗率		計画値	単位	達成度	実績値	単位	達成度
	達成状況【成果】	一部達成			55.6%			44.7%	
	進捗状況【活動】	計画どおり		コメント ・上半期に実施したサマーレビューにおいて、「計画どおり推進」とした事業について、優先的な資源配分を行うことができた。 ・また、企画調整課の各部局担当者が、重点施策に貢献度の高い事業の進捗状況をそれぞれ確認することができた。					
	計画変更(次年度以後)	取組内容	無						
		計画値	無	コメント					
評価	評価者	鬼沢 徹雄		※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B		コメント 指示事項 次年度の施策評価については、新型コロナウイルス感染拡大の影響なども踏まえての検証、評価となり、これまでとは異なり、より難しさが増す検証、評価が求められてくると思われるので、社会情勢、経済情勢の変化などを加味しながら適切な評価、検証に努められたい。					
	方向性	継続実施							



R1

## アクションプラン(令和元年度)

推進項目	11 行政評価の実施				重要度	A			
番号・取組事業名	11002	事務事業の見直しの推進	作成日	H31.4.1	更新日	R2.3.31			
担当部署	020200	企画部 行政改革推進課	責任者	飯田 晃一	担当者	行政改革推進担当			
	区分	取組内容・目標							
令和元年度	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業シートの作成, 活用</li> <li>行政内部による二次評価の実施</li> </ul>							
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
1	当該年度事務事業シートの確認			○					
2	内部評価対象事業の決定			○	○				
3	前年度事務事業シートの完成			○	○				
4	内部評価の実施				○	○			
5	当該年度事務事業の中間評価				○	○			
6	次年度事務事業シートの作成					○			
7	前年度事務事業シートの公開					○			
8	内部評価の評価結果の決定					○			
9	内部評価結果の公開						○		
10	当該年度事務事業シートの完成に向けた作成(内部評価結果に基づく取組の反映を含む)						○		
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<p>第五次総合計画後期基本計画に向けて、行政評価の手法について見直しを検討している。事務事業シートについては、シートのあり方や管理方法等も含め、より適切な行政評価のツールとなるよう検討を行っている。</p> <p>内部評価については、基本的な事務処理の適正化などの内部統制に係る取組を継続するとともに、時間外勤務時間の多い部署を対象に、業務改善を進めるため、業務量等の分析を行う。</p>					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	二次評価を実施した事業数		計画値	単位	事業	実績値	単位	事業
	達成状況【成果】	一部達成			20			-	
	進捗状況【活動】	その他		コメント	<p>これまでの事務事業の見直しから課題解決に対し一歩踏み込んだ取組を行うため、行政改革推進課主導による業務改善を実施。時間外勤務の多い部署に対し、業務フローの確認や業務量調査などを詳細に実施。時間外勤務が多く発生している原因を分析し、その課題解決に有効と思われる改善策を講じた。</p>				
	計画変更(次年度以後)	取組内容	有	コメント	<p>業務改善を進めるため、時間外勤務の多い部署を中心に、情報・業務改善課が主体的に活動する積極的な業務改善を実施する。</p>				
	計画値	無							
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B		コメント 指示事項	<p>事務事業の見直しにあたっては、情報・業務改善課が主体となり、一歩踏み込んだ業務改善に取り組まれない。</p>				
	方向性	取組み強化							